

事務事業評価シート

事務事業コード	028500	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4202	公共交通の確保			
目標 の 種 別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	その他
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-04-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取空港を発着する航空便の利用促進（鳥取空港の利用を促進する懇話会への負担金）
意図 (どのような状態 にするために)	国際チャーター便の就航、東京便の5便化維持、運賃低廉化等、鳥取空港の利便性向上を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、環日本海地域を中心に北東アジアなどの国際チャーター便就航に向けたセールスを展開する。 関係機関と連携し、東京便利用促進PRキャンペーン、イン・アウトバウンド対策事業等に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①鳥取－東京便の利用促進事業の展開 ※有償搭乗者数36万人を目標値に設定。	①鳥取－東京便の利用促進事業の展開 ※有償搭乗者数37万人を目標値に設定。	①鳥取－東京便の利用促進事業の展開 ※有償搭乗者数38万人を目標値に設定。	①鳥取－東京便の利用促進事業の展開 ※有償搭乗者数39万人を目標値に設定。	①鳥取－東京便の利用促進事業の展開 ※有償搭乗者数40万人を目標値に設定。	
	年度別実績	①利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け ※鳥取－東京便の有償搭乗者数35.4万人	①利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け ※鳥取－東京便の有償搭乗者数36.8万人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,817	12,819	0	0	0	
	直接経費 A	11,012	11,355	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	333	0	0	0	0
	一般財源	10,679	11,355	0	0	0	
人件費 B	1,805	1,464	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.25	0.20	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】年間有償搭乗者数	万人	目標	36	37	38	40	0
				実績	35.4	36.8	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成22年度から平成24年度の平均有償搭乗者数								
2	鳥取空港国際チャーター便数	便	目標	10	10	10	10	0	0
			実績	8	46	0	0	0	
(指標の説明) 鳥取空港を利用した国際チャーター便数									
3	鳥取東京便数	便	目標	5	5	5	5	0	0
			実績	5	5	0	0	0	
(指標の説明) 東京－鳥取便の数									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P184（都O10）</p> <p>【事業の概要】 鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部の各自治体、経済団体等で「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を設立し、鳥取空港の利用促進活動を展開している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 2. 鳥取空港の国際化への取組 3. これらに係る関係機関への要望、働き掛け <p>【事業の成果】 一般・特別負担金 11,355千円 鳥取-東京便の全搭乗者数 平成27年度 368,099人 平成28年度 373,107人 平成29年度 388,423人</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取-東京便の5便化定着に向け、更なる利用促進に取り組む必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	[KPI]年間有償搭乗者数	98%	99%			
	2	鳥取空港国際チャーター便数	80%	460%			
	3	鳥取東京便数	100%	100%			

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	鳥取-東京便の利用促進目標に沿った取り組みにより、全体的に好調な利用状況であった。国際チャーター便は、連続チャーター便の運航もあり、目標を大きく上回った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	鳥取-東京便は、年間有償搭乗者数が大幅に増加したものの目標には達成しなかったが、国際チャーター便の便数が目標を大幅に上回ったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成29年度の鳥取-東京便の利用者数は、関係機関と連携しながら利用促進に取り組んだことで過去最高を記録し、羽田発着枠政策コンテストによる鳥取-東京便の5便化も平成32年3月28日まで2年間の延長となった。平成30年7月に鳥取空港の一体化工事が完了し、グランドオープンしたこともあり、引き続き関係機関と連携しながら利用促進に努めていく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028600	重点施策	まちづくり	平成29年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地方バス路線維持対策補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4202	公共交通の確保			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地方バス路線維持対策補助金			予算事業コード	01-02-01-09-06-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、クルマを運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	自動車社会の進展、少子高齢化の進行等の影響により、バス利用者が年々減少し、ほとんどが赤字運行になっている鳥取市内の生活交通を維持する。
手段 (どうするのか)	バス事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①バス事業者への補助 金交付	平成29年度 ①バス事業者への補助 金交付	平成30年度 ①バス事業者への補助 金交付	平成31年度 ①バス事業者への補助 金交付	平成32年度 ①バス事業者への補助 金交付	
	年度別実績	①バス事業者への補助 金交付	①バス事業者への補助 金交付				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	212,010	209,730	0	0	0	
	直接経費 A	210,566	207,900	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	38,007	33,688	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	172,559	174,212	0	0	0
人件費 B	1,444	1,830	0	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.25	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		【KPI】路線バス利用者数の減少率	%		95	95	95	95	0	
			実績		98.5	99.2	0	0	0	
			(指標の説明) 利用者の減少抑制を目指す。(対前年比95%以内)							
	2	路線バス利用者数	人	目標	2680839	2546797	2419457	2298485	0	
				実績	2780149	2756953	0	0	0	
		(指標の説明) 鳥取県東部の路線バス利用者数。								
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
		(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P185（都O11）</p> <p>【事業の概要】 路線バスは、もともと身近で、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化や自家用車の普及などにより、バス利用者は年々減り続けており、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。</p> <p>【事業の成果】 バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持する。 地方バス路線維持対策補助金実績 平成27年度 208,771千円 平成28年度 210,566千円 平成29年度 207,900千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 住民の生活交通を確保するため、更なる路線バスの利用促進に努めるとともに、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な移動手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	104%	104%			
	2	路線バス利用者数	104%	108%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	バス事業者へ補助金を交付することにより、市民の生活交通の維持・確保に努めた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%未満：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	人口減少、自家用車の普及等により、路線バスの利用者が減少すると予測していたが、生活交通に対する必要性が高まっているためか、予想以上の減少とはならなかったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	住民の生活交通を確保するため、更なる路線バスの利用促進に努めるとともに、より効率的かつ効果的な生活交通確保策を検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	028700	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	バス代替タクシー運賃補助事業		所属名	都市整備部	交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ の 総 計 画 の 目 標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4202	公共交通の確保			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	バス代替タクシー運賃補助金			予算事業コード	01-02-01-09-07-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、クルマを運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や公共交通を補完する地域の生活交通を確保する。
手段 (どうするのか)	路線バスの代替として、乗合タクシーを運行させ、運行経費と運賃収入との差額をタクシー事業者に補助金として交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①乗合タクシー運行事業者への支援	平成29年度 ①乗合タクシー運行事業者への支援	平成30年度 ①乗合タクシー運行事業者への支援	平成31年度 ①乗合タクシー運行事業者への支援	平成32年度 ①乗合タクシー運行事業者への支援	
	年度別実績	平成28年度 新たに1路線運行開始 ※計7路線で運行中					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	29,328	26,191	0	0	0	
	直接経費 A	28,245	25,093	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	2,824	0	0	0
		地方債	3,700	2,400	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	24,545	19,869	0	0	0	
人件費 B	1,083	1,098	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.15	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	バス代替タクシー利用者数	単位	人	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		実績	32724	32601	0	0	0					
	2	(指標の説明)	バス代替タクシー年間利用者数									
		目標	0	0	0	0	0					
	3	実績	0	0	0	0	0					
		(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186（都O13）</p> <p>【事業の概要】 バス路線網の再編・減便・廃止等に伴う代替手段として運行されている乗合タクシーの運行経費の一部を支援している。 平成13年10月～ 洞谷地区（予約） 平成20年10月～ 国府地域（予約） 平成22年1月～ 米里地域、気高・青谷地域（予約） 平成24年10月～ 南部地域6路線（定時・予約） 平成28年4月～ 南東部地域（定時・予約）</p> <p>【事業の成果】 路線バスの代替として、タクシーを既存の路線バスの各停留所を經由して運行させることにより、地域住民の生活交通の確保を図る。市は運行経費と運賃収入の差額を、運行事業者に補助する。 補助金及び利用者数 平成27年度 20,308千円 26,318人 平成28年度 28,245千円 32,724人 平成29年度 25,093千円 32,601人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、バス路線の廃止と縮小が続く中、住民の交通手段を確保する事業である。地域の実情に応じた生活交通を確保するため、今後も継続して事業実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	バス代替タクシー利用者数	109%	109%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り今年度事業を完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%未満:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標を上回る利用者があったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業はバス路線網が再編・減便・廃止等された地域住民の交通手段を確保する事業であり、継続して事業を実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028800	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市町村有償運送事業		所属名	都市整備部	交通政策課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4202	公共交通の確保			
目標の 実施の	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	外部委託
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市町村有償運送事業費			予算事業コード	01-02-01-09-07-17

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域公共交通として、気高町・鹿野町に気高循環バス、青谷町絹見・引地地区に絹見バスを運行。
意図 (どのような状態 にするために)	生活交通確保と利便性向上を図るため。
手段 (どうするのか)	市町村有償運送によりバスを運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	①生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	①生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	①生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	①生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地地区)	
	年度別実績	①市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,365回 利用者数 19,059人 ・絹見バス 運行回数 925回 利用人数 3,117人	①市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,390回 利用者数 19,857人 ・絹見バス 運行回数 808回 利用人数 2,689人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	20,388	20,097	0	0	0	
	直接経費 A	19,666	19,731	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	3,167	0	0	0
		地方債	2,100	1,200	0	0	0
		その他	3,412	3,336	0	0	0
一般財源	14,154	12,028	0	0	0		
人件費 B	722	366	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	気高循環バス利用者数	人	目標	19059	19059	19059	19059	19059	
				実績	19059	19857	0	0	0	
	(指標の説明) 平成28年度実績値									
	2	絹見バス利用者数	人	目標	3117	3117	3117	3117	3117	
実績				3117	2689	0	0	0		
(指標の説明) 平成28年度実績値										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P186（都O14）</p> <p>【事業の概要】 本市として、気高町・鹿野町に「気高循環バス」を、青谷町に「絹見バス」を運行しており、児童・生徒、高齢者等の移動手段を確保している。 気高循環バス 運行系統 4系統 23便/日 絹見バス 運行系統 1系統 10便/日 運休日 土日祝日及び12月29日から1月3日 運賃 中学生以上200円、小学生・障がい者等100円、幼児無料</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">気高循環バス</td> <td style="text-align: center;">絹見バス</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">8,501人</td> <td style="text-align: center;">3,284人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">19,059人</td> <td style="text-align: center;">3,117人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">19,857人</td> <td style="text-align: center;">2,689人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 気高循環バス及び絹見バスは地域住民にとって貴重な生活交通であるため、今後も利便性の向上等を図りながら継続して事業を実施する。</p> <p>※その他財源の使用料は、気高循環バス・絹見バス使用料。</p>			気高循環バス	絹見バス	利用者数	平成27年度	8,501人	3,284人		平成28年度	19,059人	3,117人		平成29年度	19,857人	2,689人
			気高循環バス	絹見バス													
利用者数	平成27年度	8,501人	3,284人														
	平成28年度	19,059人	3,117人														
	平成29年度	19,857人	2,689人														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	気高循環バス利用者数	100%	104%			
	2	絹見バス利用者数	100%	86%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通りに運行を行った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	気高循環バスは目標値を上回り、絹見バスは目標を下回る結果となったが、全体で見ると目標を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>人口減少の急速な進展により利用者数は減少すると予想されるが、一方で公共交通の必要性が高まっていることから、より市民に利用していただけるよう、ダイヤ等の改善を図りながら継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	028900	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	公共交通空白地有償運送支援事業		所属名	都市整備部 交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ の 位置	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公共交通空白地有償運送支援事業費			予算事業コード	01-02-01-09-07-18

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、クルマを運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や公共交通を補完する地域の生活交通を確保する。
手段 (どうするのか)	NPO法人などの公共交通空白地有償運送事業者が実施する運行事業と車両等設備整備事業等に対して補助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	平成29年度 ①公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	平成30年度 ①公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	平成31年度 ①公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	平成32年度 ①公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	
	年度別実績	①公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,302千円	①公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 9,963千円 ※福部循環バスの購入費補助含む。				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,024	10,329	0	0	0	
	直接経費 A	3,302	9,963	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,650	2,612	0	0	0
		地方債	0	5,300	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,652	2,051	0	0	0		
人件費 B	722	366	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		過疎地有償運送事業者数	件	目標	2	2	2	2	2	
			実績	2	2	0	0	0		
	(指標の説明) 鳥取市内の公共交通空白地有償運送事業者数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P187（都O15）</p> <p>【事業の概要】 公共交通空白地域対策や公共交通を補完するものとして、NPO法人等による「公共交通空白地有償運送」を支援する。</p> <p>【事業の成果】 ①福部循環バス 運行事業者：鳥取市社会福祉協議会 運行実績 H27 10,725人 H28 10,154人 H29 9,470人 補助実績 H27 2,949千円 H28 2,772千円 H29 9,479千円 ②ふるさとバス 運行事業者：NPO法人OMU 運行実績 H27 1,009人 H28 954人 H29 795人 補助実績 H27 592千円 H28 530千円 H29 484千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民との協働による公共交通確保の取り組みとして、継続して事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	過疎地有償運送事業者数	100%	100%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り今年度事業を完了した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	計画通り2つの事業者に補助金を交付したため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	公共交通の必要性が高まっている一方、バス事業者が運転手の確保に苦慮されている中、交通空白地域における生活交通を確保するにはなくてはならない交通手段であると考え。このため、今後も支援を継続する必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	029000	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	100円循環バス運行事業		所属名	都市整備部	交通政策課	

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり	根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)	0%	30%	運営方法	その他
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	100円循環バス運行費負担金		予算事業コード	01-02-01-09-08-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	100円循環バス「くる梨」
意図 (どのような状態 にするために)	中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等。
手段 (どうするのか)	市街地をワンコイン(100円)で移動することができる公共交通を運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①くる梨の運行 ※年間利用者数37万人を目標値に設定。	①くる梨の運行 ※年間利用者数38万人を目標値に設定。	①くる梨の運行 ②路線見直し ※年間利用者数39万人を目標値に設定。	①くる梨の運行 ※年間利用者数39万人を目標値に設定。	①くる梨の運行 ※年間利用者数39万人を目標値に設定。	
	年度別実績	①くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース ※年間利用者数 38.1万人	①くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース ※年間利用者数 39.5万人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	35,073	39,517	0	0	0	
	直接経費 A	33,629	37,687	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	7,604	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,629	30,083	0	0	0		
人件費 B	1,444	1,830	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	利用者数	人	目標	370000	380000	390000	390000	390000
		実績		381912	395471	0	0	0	
	(指標の説明) くる梨の年間利用者数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P187（都O16）</p> <p>【事業の概要】 100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の回遊性を高め活性化することを目的に、平成14年10月1日から実証運行を行い、運行ルート等の改善、バス活性化協議会での審議等を経て、平成16年1月から本格運行を開始している。また、平成25年4月から緑コースを運行開始した。</p> <p>【事業の成果】 (負担金及び利用者数実績) 平成27年度 31,113千円 378,814人 平成28年度 33,629千円 381,912人 平成29年度 37,687千円 395,471人</p> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等のため、継続して事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	利用者数	103%	104%			
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	過去最高の利用者数となり、目標を達成することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標を上回る利用者数となったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢化の進展等により、地域住民の生活交通としての利用が増加している。平成31年秋の新庁舎開庁時には、くる梨による新庁舎へアクセスを含む路線再編を検討しているが、利用実態や利便性のさらなる向上等を踏まえながら行う必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	029100	重点施策	該当なし	平成29年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取港振興会対策事業		所属名	都市整備部	交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり	根拠法令、 根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)	0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取港振興会対策費		予算事業コード	01-07-04-01-04-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取港（鳥取港振興会）				
意図 (どのような状態 にするために)	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物取扱量の増加。（港湾利用企業の誘致、新規貨物の獲得） ・クルーズ客船の誘致、受入れによる港の賑わい創出。 ・ボートパークの利用。 				
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取自動車道全線開通及び山陰近畿自動車道一部整備、鳥取空港羽田便の5便化等によるアクセス向上をPRし、関西、中国地方を中心にポートセールスを実施する。 ・山陰海岸ジオパークなど魅力的な観光資源や周辺的高速道路網をプロモーション活動に生かした客船誘致に取り組む。 				

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内容	年度別計画	①鳥取港振興会へ職員を派遣 ②鳥取港振興会への事業・運営費補助	①鳥取港振興会へ職員を派遣 ②鳥取港振興会への事業・運営費補助	①鳥取港振興会へ職員を派遣 ②鳥取港振興会への事業・運営費補助	①鳥取港振興会へ職員を派遣 ②鳥取港振興会への事業・運営費補助	①鳥取港振興会へ職員を派遣 ②鳥取港振興会への事業・運営費補助
	年度別実績	①職員1名を派遣 ②補助金4,682千円	①職員1名を派遣 ②補助金6,588千円			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	5,414	7,329	0	0	0
	直接経費 A	4,692	6,597	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	4,692	6,597	0	0	0	
人件費 B	722	732	0	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	鳥取港取扱貨物量	万トン	目標	73	74	75	76	77
				実績	72	81	0	0	0
	(指標の説明) 鳥取港の輸出入・移出入に係る平成27年の貨物量								
2	クルーズ客船の誘致、受入	回	目標	2	2	2	2	2	2
			実績	0	1	0	0	0	
	(指標の説明) 外国客船を含むクルーズ客船の寄港回数								
3			目標	0	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成29年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【10次総の施策体系】 4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P188（都O17）</p> <p>【事業の概要】 鳥取港の利用促進を図るため、「鳥取港振興会」が行うポートセールス活動等を、県・市の商工部局、商工団体等と連携しながら支援する。 ①クルーズ客船誘致活動 ②外国貿易促進活動 ③港湾施設の整備及び港湾関係公共機関の設置に係る要望活動</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 貨物取扱量 72万トン クルーズ船寄港 0隻 平成28年度 貨物取扱量 72万トン クルーズ船寄港 0隻 平成29年度 貨物取扱量 81万トン クルーズ船寄港 1隻</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取港を「クルーズ船の寄港地」、「観光港」として賑わい創出に取り組んでいく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	鳥取港取扱貨物量	99%	109%			
	2	クルーズ客船の誘致、受入		50%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	関係機関が一体となって、鳥取港の利用促進に取り組んだ。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%未満:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	これまでの継続した誘致活動によりクルーズ客船が3年ぶりにの寄港したものの、目標受入回数に達しなかったが、取扱貨物量が4年ぶりに80万トンを超え目標を達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本年5月に賀露港が北前船寄港地として日本遺産に追加認定されたことを受け、鳥取港振興会と連携しながら、より一層の貨物取扱量の増加、クルーズ船の誘致、賑わいの創出などさらなる鳥取港の振興に取り組んでいく必要がある。</p>				